
中学生が金稼ぐには苦労する

ジェリー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

中学生が金稼ぐには苦労する

【Nコード】

N8673Q

【作者名】

ジェリー

【あらすじ】

「バカ言ってるじゃねー。佐々木お前も一緒に貯めようぜ。」
どういう思考回路してるんだ。

中学3年生の俺は、親友と一緒にとある電気屋に出かけていた。まさか、この日から俺たちの貯金物語が始まるうとは……………。
想像もしちゃいなかった。

その1 きっかけ

中学生とは全く不便なものである。

勉強が本業とはいっただれが決めたもんだか。

義務教育なんてだれが言い出したのか。

なんでバイトができないのか。

さて、俺がどうしてこんなことを言い出したのかというと

それは、数時間前のことである……………。

俺は友達と一緒に電気屋に出かけていた。

友達はバカみたいにレーザーポインターが欲しいと言っていたのでついて言った次第だ。

なぜ欲しいのか聞くと、当たり前のように

「ライトセーバーみたいに遊びたいからに決まってるじゃん。」

そういわれても困る。そういえば自己紹介がまだだった。俺の名

前は「佐々木 勇人」

どこにでもいる中学3年の男子だ。そんなもってこのバカみたい

なのが「栗林 真二」

かなり天然だが学業優秀。

顔は、中の上ぐらいなんだと思う。俺にとっては同級生であり親

友である仲のいい友達

なのだが……………。

「佐々木、お前も買えよ。俺だけ買っても遊べないじゃん。」

俺もですか！！というか俺たち受験生なんですよ分かってますか
その辺。

と突っ込みたいのを我慢し

「それ3000円もするし、たぶんすぐ使わなくなと思うから
パス。」

と言った。すると真二のやつは乗り気でじゃねえなこいつという顔つきで

「あつそ、じゃやめよ。」

やめるんですかあああ。じゃ俺たちここに来た意味ないじゃん。まず俺が買うのか確認してから来ようぜ。と思いながら

「じゃあ、せっかく来たんだし他のもの見て行こう。」

ここまで読んでくれた人には俺の性格が分かった人も少なくないだろう。

なんと俺は、心の中でしか突っ込めないのである。なんとと言えるほどの

性格ではないが。と考えていたらもう真二は他のコーナーに走り出していた。

「おい、待てよ。」

と言いながら追いかけていく。

しかし、PC売り場で事件は起きたのだった。

って大げさだ。

「真二、何見てるんだよ。」

というか店で走るなよ。お前は子供かと言いたいのを抑えた。

真二が見てたのはノートパソコンである。まあごくごく普通のスペックで75000円。

さらに現金値引きと書いてあった。

「俺ノーパソ買おうかな。はあでも高いな。」

おい！どうしてそういう発想に至るかな。真二君。今日は、レーザーポインターを買い

に来たんだろが。と突っ込みたいとこだが言えず、

「まあ、俺たち平凡な中学生には75000円なんて無理だろ。他の見ようぜ。」

と言ったが真二は何も聞いちゃいない。ただじつと眺めて言い放った。

「俺は、今日から金をためる。」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

まさかこんなこと言い出すとは、何考えてるんだか。

俺はあわれむような口で、無理なんじゃね。

と言えるはずもなく。ただ、とつぜんわけ分かんない事を口にした真二を見つめていた。

「俺は何としても貯めて今年中にノーパソを買って見せる。」

そついう事かと納得した。・・・ふりをして

「別に勝手にすればいいじゃん。」

と言うと

「バカ言つてんじゃねー。佐々木お前も一緒に貯めようぜ。」

どついう思考回路してるんだ。こいつバカにもほどがある。

せめて、親友を巻き込むのだけはご勘弁

と言いたかった。だが言えない。でももう5月である。

さすがに無理だろうと視線を送ると、

「じゃ明日俺の家で会議だぞ。」

全く伝わらなかったようだ。

そのまま何も言わずに家に帰宅したため息をついた。どうしてこうなるかな。

それは断つたり突っ込んだりできない自分のせいだ。そんなのは百も承知である。

で、自分の部屋に行き机の中から自分の通帳を出して中身を見る。ここで冒頭のシーンになるってわけだ。

なんで、預金額が315円かな。100円ショップで3つしかもの買えないじゃん。

という庶民的な例えをしてベツトに寝転がる。

その日は1日中そんなことばかり考えて1日を終えた。

明日は月曜日だ。

少なくともあいつは何か考えているだろう。そう思いながらその日

は寝付いた。

しかしその考えが甘かったことにまだ気づかない俺だった。

その1 きっかけ（後書き）

はじめての投稿で改行もめちゃくちゃですが
見てくださった方に感謝します。

また感想を聞かせてください。

（ダメ出しでも構いません）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8673q/>

中学生が金稼ぐには苦勞する

2011年2月13日12時45分発行